

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入（ ）は前回評価					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
(1) 県内高校生の卒業後県外転出率の減少	(1) H28年度実績 (学校基本調査他) 県外進学者+県外就職者 県内卒業者 =57.6% R3年度目標 52.6%	(取組1) 正規雇用1万人チャレンジ計画の推進会議への参加 県内就職強化会議等の参加	(取組1の活動指標) 平成27年度から平成30年度/年1回 年度内 1回	(取組1の活動実績) 正規雇用1万人チャレンジ計画の推進会議/平成30年2月に参加 ※以降開催されていない 令和元年度：各種県内就職強化会議に随時参加(10回以上) 令和2年度：各種県内就職強化会議に10回以上参加 令和3年度：地域人材定着推進会議等に5回参加 令和4年度：就職強化本部会議等に7回参加	A (A)
		(取組2) 県内企業の共同就職フェアの推進	(取組2の活動指標) 年1回	(取組2の活動実績) 令和元年度3回実施 米子・倉吉・鳥取の3会場にてそれぞれ3回実施 令和2年度3回実施 (米子3回、倉吉1回、鳥取3回) その他、オンライン企業説明会3回開催 令和3年度1回実施 (米子、倉吉、鳥取で各1回) その他、オンライン企業説明会1回開催 令和4年度4回実施 (米子4回、倉吉1回、鳥取4回)	S (A)
		(取組3) 県内高等教育機関のパネルを高校内へ展示推進	(取組3の活動指標) 年3校以上	(取組3の活動実績) 平成29年度5校実施 平成30年度7校実施 令和元年度18校実施 令和2年度23校実施 令和3年度26校実施 令和4年度24校実施	S (S)
(2) 県内高等教育機関の教育内容の充実と学	(2) e-ラーニング授業可能科目数 H29年度 0	(取組4) 単位互換科目の検討協議	(取組4の活動指標) 毎年1-2回開催	(取組4の活動実績) 県内4大学単位互換履修科目の設定 平成30年度前期12科目 後期28科目	B (B)

様式3) 達成目標・活動指標等(おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入 ()は前回評価					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
習機会の拡大	毎年度 1科目増			令和元年度前期なし 後期 24科目 令和2年度前期 23科目 後期なし 令和3年度前期・後期なし 令和4年度前期・後期なし	
		(取組5) e-ラーニング授業実施のための 機材活用	(取組5の活動指標) 平成30年度より	(取組5の活動実績) 平成29年度より活用開始。 令和2年度より遠隔授業の補完として e-ラーニングを活用。また、遠隔 授業用の機材等導入し活用開始。	A (A)
		(取組6) e-ラーニング授業の検討と実 施	(取組6の活動指標) 平成30年度より	(取組6の活動実績) 県内高等教育機関での教育プログ ラム開発委員会を実施し検討 平成29年度8回実施 平成30年度8回実施	A (A)
				令和元年度7回実施 令和2年度以降大学毎で継続	
		(取組7) e-ラーニング授業の広報(対 象者:学生・教員)	(取組7の活動指標) 平成30年度より	(取組7の活動実績) 平成30年度前期より県内4大学で ホームページ等において広報開始 (鳥取県4大学間単位互換科目履修 案内作成)し継続中。 コロナ禍のため令和2年度後期より 中断。	B (B)
(取組8) e-ラーニング授業に関するの 調査	(取組8の活動指標) 平成30年度実施	(取組8の活動実績) 3大学で平成30年9月に先進大学(北 海道大学)の視察を実施 令和元年度はNTTと共同調査実施。 令和2年度以降大学毎で継続。	A (A)		
(3) 県内高等教育 機関のキャリ ア教育の充実	(3) インターンシップ参加者数 の増加 【実績】 H28年度実績 249名 H29年度実績 382名 H30年度実績 426名 R1年度実績 426名 R2年度実績 302名	(取組9) インターンシップ受け入れ企 業の増加	(取組9の活動指標) 産業界との協議年1回	(取組9の活動実績) 鳥取県インターンシップ推進協 会の参加 平成30年度1回参加 令和元年度1回参加 令和2年度4回参加 令和3年度1回参加 令和4年度3回参加	A (A)
		(取組10)	(取組10の活動指標)	(取組10の活動実績)	

様式3) 達成目標・活動指標等(おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入 ()は前回評価					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
	R3年度実績 340名 R4年度実績 315名 R3年度目標 300名	とっとりインターンシップフェスティバル開催	年1回	令和元年6月実施 参加学生数 450名(昨年度 350名) 参加企業数 80社(昨年度 70社) 令和2年7月実施 参加学生数 2,163人 参加企業数 30社 令和3年度6月実施 参加学生数 1,156人 参加企業数 68社 令和4年度7月実施 参加学生数 454人 参加企業 65社	A (A)
		(取組11) インターンシップ合同企業説明会	(取組11の活動指標) 年1回	(取組11の活動実績) 1回実施 令和元年11月実施 令和2年11月実施 参加学生数 911人、参加企業数 62社 令和3年12月実施 参加学生数 217人、参加企業数 59社 令和4年12月実施 参加学生数 128人、参加企業数 50社	A (A)
(4) 県内高等教育機関卒業者の県内就職の促進	(4) 県内高等教育機関卒業者の県内就職率 【実績】 H28年度実績 29.6% H29年度実績 29.1% H30年度実績 35.2% R1年度実績 34.9% R2年度実績 34.0% R3年度実績 35.2% R4年度実績 33.7% (R1年度目標 44.3%)	(取組12) 地域学科目(鳥取学等)e-ラーニングの導入	(取組12の活動指標) 平成31年度実施	(取組12の活動実績) 地域学科目をDVDに収録 令和元年度収録科目 鳥取大学：2科目 公立鳥取環境大学：2科目 鳥取看護大学：1科目 鳥取短期大学：2科目 令和2年度収録科目 鳥取看護大学：1科目 鳥取短期大学：2科目 令和3年度収録科目 鳥取短期大学：3科目 令和4年度収録科目 鳥取短期大学：9科目	B (B)
		(取組13) 正規雇用1万人チャレンジ計画の推進会議への参加	(取組13の活動指標) 年1回	(取組13の活動実績) 平成30年2月に参加 実施期間 平成27年度から平成30年度 ※以降開催されていない	B (B)

様式3) 達成目標・活動指標等(おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入 ()は前回評価					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
		(取組14) 県内企業の共同就職フェアの推進	(取組14の活動指標) 年1回	(取組14の活動実績) 令和元年度3回実施 米子・倉吉・鳥取の3会場にてそれぞれ3回実施 令和2年度3回実施 (米子3回、倉吉1回、鳥取3回) その他、オンライン企業説明会3回開催 令和3年度1回実施 (米子、倉吉、鳥取で各1回) その他、オンライン企業説明会1回開催 令和4年度4回実施 (米子4回、倉吉1回、鳥取4回)	A (A)
(5) 県民の生涯学習内容の充実と機会の増加	(5) プラットフォーム連携講座の受講者数の増加 【実績】 H29年度実績167名 H30年度実績325名 R1年度実績517名 R2年度実績360名 R3年度実績298名 R4年度実績462名 1回平均50名(見込み) 毎年度各10%増	(取組15) 講座内容、講師、会場の協議検討会議	(取組15の活動指標) 毎年1回	(取組15の活動実績) 平成29年度1回 平成30年度1回 令和元年度1回 令和2年度1回 令和3年度1回 令和4年度1回	A (A)
		(取組16) 広報活動の充実	(取組16の活動指標) 令和元年度 広報の場所増所	(取組16の活動実績) 平成30年度、検討を重ね、令和元年度、計9講座を実施 令和2年度、計5講座を実施 令和3年度、計6講座を実施 令和4年度、計9講座を実施	A (A)
		(取組17) 受講生に対するアンケート調査	(取組17の活動指標) 令和元年度実施	(取組17の活動実績) 令和元年度実施した計9講座全てのアンケート結果を集約・検証 アンケート結果は好評価 令和2年度はコロナ禍のため中止とする講座もあり、5講座の開催となった。アンケートは好評価であった。 令和3年度もコロナ禍の影響により6講座の開催となった。アンケートは高評価であった。 令和4年度は予定していた9講座を	S (S)

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入						() は前回評価
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考	
				開催することができた。アンケートは高評価であった。		
(6) 人手不足社会における人手確保による産業界の活性化	(6) 女性の就業率の向上 H27.10.1 実績 (国勢調査) 50.9% R2.10.1 53.1% R2.10.1 目標 55.9%	(取組 18) 技能向上の支援のための履修プログラム検討	(取組 18 の活動指標) 平成 30 年度より	(取組 18 の活動実績) 鳥取看護大学が地域の看護職のキャリアアップを目的とした「未来志向型ナース育成プログラム」を開設し、令和 2 年度から募集を開始 鳥取短期大学が 5 つの学科専攻から各 1 講座(計 5 講座)を開設し、令和 3 年度から募集を開始	S (S)	
		(取組 19) 女性雇用に関する共同研究の支援	(取組 19 の活動指標) 平成 30 年度より年 1 回研究	(取組 19 の活動実績) 女性雇用の課題について部会構成メンバーによる意見交換を実施(平成 30 年 5 月)、シンクタンクの調査レポートをもとに認識を共有(平成 30 年 7 月) 平成 30 年度に 1 事業採択 令和元年度より研究開始 研究成果を令和 2 年 7 月の運営協議会で発表 令和 2 年度 1 事業採択、令和 4 年度研究終了、令和 5 年 6 月の研究報告会で発表 令和 3 年度 1 事業採択、令和 3 年度研究終了、令和 4 年 6 月の研究報告会で発表	A (A)	
(7) 地域リスクマネジメント体制の強化	(7) 自主防災組織率の向上 H28.4.1 実績 (鳥取県) 82.0% H29.4.1 83.8% H30.4.1 85.7% R1.4.1 88.1% R2.4.1 92.3% R3.4.1 92.7% R4.4.1 92.9% R4.4.1 目標 90%	(取組 20) 中部地震復興会議への参画	(取組 20 の活動指標) 年数回	(取組 20 の活動実績) 平成 29 年度 1 回 平成 30 年度 1 回 参画 ※平成 30 年 10 月 21 日以降、開催されていない(事業終了)	B (B)	
		(取組 21) リスクマネジメント体制に関する共同研究支援	(取組 21 の活動指標) 平成 30 年度より年 1 回研究	(取組 21 の活動実績) 平成 30 年度に 3 事業を採択 令和元年度より研究開始 令和 2 年 2 月中間報告取り纏め 令和 3 年 3 月研究終了予定 その後、コロナ禍のため研究期間を延長	S (S)	

様式3) 達成目標・活動指標等(おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入 ()は前回評価					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
				令和4年1月に成果報告会を実施 令和3年度に1事業を採択 令和4年度研究終了 令和5年6月研究報告会で発表 防災士養成 H30/12名、R1/22名 R2/27名 R3/34名 R4/34名	
(8) 人口減少社会への対応	(8) 合計特殊出生率の増加 H27.10.1 実績 (国勢調査) 1.69 (鳥取県算出) 1.65 R2.10.1 実績 (鳥取県算出) 1.52 R2.10.1 目標 1.80	(取組22) 子育て支援に関する講座への講師派遣	(取組22の活動指標) 年2回	(取組22の活動実績) 県、市町村が実施している子育て支援に関する研修や講座の情報を収集し共有した(平成31年2月)令和元年10月～11月に鳥取県保育従事者(保育士以外)研修を4回開催(鳥取短期大学) 令和2年度12月～1月に鳥取県保育従事者研修開催39名受講 令和4年2月に鳥取県保育従事者研修をオンラインで開催32名受講 令和4年度33名受講	A (A)
		(取組23) プラットフォーム形成機関の育児休業取得率の向上	(取組23の活動指標) 5年で5ポイント向上	(取組23の活動実績) プラットフォーム形成13団体について、法人向けと個人向けの育児休業取得に関する調査を実施(令和2年1月～2月)。鳥取県内の育児休業の取得に関する課題を整理し運営協議会で報告(令和2年2月)令和3年5月に鳥取県に「保育園の年度中途入園枠の確保」など4項目について要望書を提出	S (S)
		(取組24) 少子化対策の共同研究の支援	(取組24の活動指標) 平成30年度より年1回研究	(取組24の活動実績) 平成30年度に2事業を採択 令和元年度より研究開始 2年間の研究であったが、コロナ禍のため研究期間を延長 令和4年6月に成果報告会を実施	A (A)
(9) 社会人学生の確保	(9) 社会人学生の増加 (社会人学生/全学生数) H29年度実績 88名	(取組25) 産業人材育成センター委託事業の推進	(取組25の活動指標) 平成30年度より受託 (鳥取短期大学)	(取組25の活動実績) 平成30年4月より訓練生を受入。 ・幼児教育保育学科(幼教) ・生活学科食物栄養専攻(食物) 平成30年度	S (S)

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内） ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入 () は前回評価					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
	R4 年度実績 31 名 R4 年度目標 97 名 (社会人学生数の増加率 10%)			幼教 2 人、食物 3 人、合計 5 人 令和元年度 幼教 6 人、食物 5 人、合計 11 人 令和 2 年度 幼教 4 人、食物 4 人、合計 8 人 令和 3 年度 幼教 8 人、食物 5 人、合計 13 人 令和 4 年度 幼教 6 人、食物 5 人、合計 11 人	
		(取組 26) 履修証明プログラム導入検討	(取組 26 の活動指標) 平成 30 年度より	(取組 26 の活動実績) 取組 27 の共同研究の中で検討 令和 2 年度より看護大導入 令和 3 年度より短大導入	A (A)
		(取組 27) 社会人の学びやすい仕組みの導入と推進	(取組 27 の活動指標) 平成 30 年度より	(取組 27 の活動実績) 平成 30 年度に 1 事業を採択 令和元年度より研究開始 令和 2 年度継続中 令和 4 年 6 月に成果報告会を実施	A (A)
		(取組 28) 社会人への広報活動の充実	(取組 28 の活動指標) 平成 30 年度より	(取組 28 の活動実績) 令和元年度より社会人の学びに関するニーズ調査実施に向け協議 ⇒令和 2・3 年度実施	A (A)
(10) 県内高等教育機関の教育活動に関する適切かつ効果的な運営	(10) 共同の F D ・ S D の充実 (参加人数の増加) 【実績】 H29 年度 0 名 H30 年度 149 名 R1 年度 118 名 R2 年度 234 名 R3 年度 155 名 R4 年度 146 名 R4 年度 目標 150 名	(取組 29) 共同の F D 研修会の実施	(取組 29 の活動指標) 毎年 9 月に共同の研修会を開催	(取組 29 の活動実績) 平成 30 年 9 月に共同 F D ・ S D 研修会を開催 令和元年 9 月に 2 回目を実施 令和 2 年 9 月に実施 令和 3 年 9 月に実施 令和 4 年 9 月に実施	S (S)
		(取組 30) 共同の S D 研修会の実施	(取組 30 の活動指標) 毎年 9 月に共同の研修会を開催	(取組 30 の活動実績) 取組 29 に含める	S (S)

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入						() は前回評価
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考	
(11) 学生による地域貢献活動の展開	(11) 学生のこども食堂・学習支援の参画(参加人数の増加) R4年度 目標100名	(取組31) こども食堂・学習支援に関する合同説明会の開催	(取組31の活動指標) 毎年2回合同説明会を開催	(取組31の活動実績) こども食堂を運営する県内36団体と鳥取短期大学の学生261名を対象にアンケート調査実施 (平成30年12月) 鳥取県及びこども食堂運営とりまとめ事業者との間で現状と課題について意見交換を実施(平成31年1月) ボランティア学生の交通費支給制度の導入を検討(平成31年1月) 6つのこども食堂に5つの高等教育機関から延べ44名の学生がボランティアとして体験参加(令和元年11月～令和2年1月) ボランティア活動保険料の全額補助制度の新設を決定(令和2年2月) コロナ禍でのこども食堂の活動状況を聴取するとともに、スマホを活用した登録管理ツールを作成中(令和3年度)*登録管理ツールについては、担当教授退官のため中止	B (B)	
		(取組32) こども食堂・学習支援の参画募集チラシの作成(ホームページ等で公開)	(取組32の活動指標) 平成30年度より作成し、随時更新する	(取組32の活動実績) QRコードから申し込みができるこども食堂参加者募集チラシを作成し、5つの高等教育機関で掲示(令和元年11月) コロナ感染状況をみて募集再開予定	B (B)	
(12) 美術館のサポート・活用	(12) 県立美術館の年間来館者目標の達成 R7年度目標18万人	(取組33) 美術ファシリテーターの養成	(取組33の活動指標) 対話型鑑賞プログラムの実施	(取組33の活動実績) 令和3年度より開始 ・2校で6回実施。 ・他校の見学参加あり。 ・県内小学生対象に実践。 令和4年度 ・鳥取短期大学、鳥取看護大学、米子工業高等専門学校3校で4回実施。 ・県内小学生対象に実践。	S (S)	

様式3) 達成目標・活動指標等(おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入 ()は前回評価					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
		(取組 34) 美術館フィールドの活用支援	(取組 34 の活動指標) 建設現場等を授業等へ活用	(取組 33 の活動実績) 令和3年度より開始 ・設計企業の講演会を実施。他大学等、県内設計関係者なども参加 令和4年度 ・県外関連施設視察2回実施。 ・建設現場見学4回実施。	S (A)
		(取組 35) 美術館のサポート	(取組 35 の活動指標) 県民へ機運醸成機会を提供	(取組 33 の活動実績) 令和3年度より開始 ・県立美術館の出前説明会等の開催を案内 ・学生を対象としたポケットパークアイデアコンペを実施 令和4年度 ・県立美術館のロゴ・シンボルマークの募集について協力 ・県美応援団と連携して現場見学会や講演会に参加	S (A)

◆「活動実績」は、令和5年3月31日までの取組状況について記載。

◆「評価」については、下記を参照し記載。

S：当初の取組計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。

A：当初の取組計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。

B：当初の取組計画について、期間中には十分な成果が出ておらず、目標の達成に継続した努力が求められる。

C：当初の取組計画について、未達のため取組内容や目標等の一部見直しが必要である。

D：当初の取組計画について、目標の達成見込みがないため、取組内容や目標等に関して抜本的な見直しが必要である。